

1. 件名：原子力機構バックエンド対策監視チームに関する事業者面談（5）

2. 日時：令和5年7月14日（金）10時00分～11時45分

3. 場所：原子力規制庁10階南会議室（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

金子安全規制調整官、伊藤主任安全審査官、菅生主任安全審査官、  
本多主任安全審査官、上野管理官補佐、立元管理官補佐、  
澁谷安全審査専門職

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部

バックエンド推進部 次長 他3名

埋設事業センター センター長

安全・核セキュリティ統括本部 統括管理室 技術副主幹

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：原子力機構のバックエンド対策の現状と課題＜前回会合のご質問コメントへの回答ドラフト2版＞（第7回バックエンド対策監視チーム会合資料案）

参考資料：原子力科学技術委員会 原子力バックエンド作業部会（第6回）配布資料（令和5年6月30日）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu2/099/shiryo/1423069.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu2/099/shiryo/1423069.htm)

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	しくお願いいたします。ではこれから、バックエンドと、
0:00:04	対策監視チーム会合の第7回目に向けた面談の2回目を開催いたします。前回、6月28日に、スライドのドラフトらんだRAFT版を見せていただきまして、その時点では、まだ作成中準備中の。
0:00:22	スライドが、いくつかありましたけども、今回、概ね全体像がそろったということでご説明を、特に差分についてお願いすることになっております。
0:00:35	では、JAEAから説明をお願いいたします。
0:00:51	こちらGへ東京事務所ドウノマエです。よろしくお願いいたします。お願いいたします。今画面交流をさせていただいています。
0:01:03	本件の本件の説明に関しましては、ドラフトのご説明というところもありまして、
0:01:13	当間作成者がそれぞれにご説明させていただきたいと思います。それなので、東京事務所からは、組織関係の話、それから東海本部の方から、
0:01:26	廃止、廃棄体化、廃止措置廃棄体化埋設、それから技術開発というところを、廃棄体化を措置については北川主席。
0:01:38	それから、廃棄体化については佐々木次長、ニーズ開発については、中澤次長の方からご説明させていただくという形にしたいと思います。よろしくお願いいたします。
0:01:51	それでは施設、資料の表面ですけどもこれについては、ドラフト、前回ドラフトというふうにしてますけども。
0:02:01	日付を少し変えまして本日時点ということで表記をさせていただいています。それから、ちょっと資料全体に関わりますけれども、
0:02:12	ちょっと公開になりますので、そこら辺のところは、まだドラフトであるということを少し明示するために近しいのドラフトというものを入れさせていただきました。
0:02:24	それから日付に関しては、は8月30日と、昨日の管理課の面談の中で、ご連絡いただきましたので、
0:02:35	日付を8月30日というふうに変えてございます。
0:02:40	続きまして2ページ目ですけども、2ページ目は、目次については少し字を大きくしたという程度でございます特に変更はありません。
0:02:50	続きまして、3ページにも同じことになっております。続いて、4ページ目ですけども。
0:03:00	前回28日の面談の中では、技術開発戦略だとか、その部分でコスト優先が強調されてるように見えるということで安全確保法もきちっと入れなさいと。
0:03:14	いうお話でした。そこにつきましては、バックエンド対策の必要性重要性とか、そこについて少し文言修正はしておりますが内容の趣旨は変わっておりません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:27	下の第4中長期計画の全体戦略に関しては、一番初めに、理論的計画の伝達に関しては、一番臨調形の文言を引用しつつ、安全確保を最優先としつつと。
0:03:41	いうところをまず前面に持ってきております。それから、技術開発のところの現場。
0:03:49	理想ですけども、この部分の下の丸2番目ですね。
0:03:53	技術開発の観点として、学園対策費用の削減に行ってきて、生活のこれ現場確認が28日、話してはありますが、
0:04:04	そこについてはリスクという言葉を入れて、安全性をまず重要視してますという記載を入れております。
0:04:12	続きまして5ページ目ですけども、ここについては、各廃止措置、廃棄物処理技術開発等の活動について、
0:04:22	バックエンド対策とほとんど役割を、それぞれに非記載しておりますが、そこについても一番冒頭の部分ですかね、安全確保を最優先としつつというところを、
0:04:35	人数でメールに記載しているというところでございます。組織管理員についても、
0:04:42	前回からの差分に関しては、以上となります。それでは6ページ目以降、
0:04:50	排出について北澤主席の方からお願いいたします。
0:04:54	早瀬原子力機構の北川でございます。それから、7ページの方の応答ですけども前回の御面談で、本知久原災処理施設が学んで、最優先にどうして最優先なのかというところのご質問がございましたので、
0:05:11	一番冒頭に持ってきたんですけどもロードマップ、バックエンドロードマップを平成30年に策定しております、その中で、リスク低減の大きな施設と、
0:05:23	コスト低減効果の大きな施設を優先するということが明記されておまして、ここで排水の当面の目標としては、管理区域解除までというふうに記載しています。
0:05:36	それでこのバックエンドロードマップは大きく第1期第二期第三期というふうに分かれておまして、第1期は策定してから、令和10年までの期間を言っておるんですけども。
0:05:48	この期間については当面の施設の安全確保、新規基準対応ですとか、耐震対応、高経年化対策技術低減対策工を優先しつつ、以下の施設を、の廃措置を進めると。
0:06:01	いうふうに書いてございまして、その中にもんじゅ、ふげん再処理、東海再処理施設それから
0:06:09	廃棄物発生が少ない比較的規模の小さい施設というふうに明記されておましてここでもう受電再処理は優先というふうに明記されております。
0:06:20	それで、そこを追加しております。それから7ページ、同じく7ページの下対応方針のところは今その炉、ロードマップに書かれてる管理区域の解除と書いてました

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	けどもそちらが書いてある、その上に持っているのでそこをちょっと変えております。
0:06:40	それから、8ページにつきましては、その優先順位の考え方のちょっとフローがちょっとわかりづらいところもありましたのでちょっと見なおしております青枠のところになりますけども。
0:06:54	はい措置体制があってもですね、管理区域が解除されるまで原子力聖徳の管理が必要でございますので、万一のトラブル発生時には運転中の施設と同様の対応が必要と。
0:07:08	ということで、この優先順位を決める時には
0:07:14	施設の中に核物質があったりもう、反し核物がなかったりと、そういった施設がある中で、その排泄対象施設の共通的なリスクということで、
0:07:25	放射性物質の漏えいと被ばく、それから機能としては、放射性物質の閉じ込め機能があるところということ。それから、その内部で施設内に保有する放射性物質の影響度の大小を、
0:07:41	区分ということで、プル $\alpha$ 系ということでプルトニウム、それから間部 $\beta$ $\gamma$ 含めてウラン、それから汚染がない状況というふうなところで、
0:07:52	一般的にそういった漏えいとか被ばくの観点で大きい核種ということでプルトニウムというのを挙げさせていただきまして、
0:08:02	実際そのプルトニウムは閉じ込め機能が維持されました。グローブボックス内で取り扱われておりまして、この廃止措置段階においてもグローブボックスの閉じ込め機能の管理するのは必要となっていくしますので、
0:08:13	プルトニウム系の、
0:08:16	グローブボックスを有している施設、これ発想をまず選定させていただきました。その中で灰措置後の大大幅な維持管理費の削減と、
0:08:27	速やかに廃止措置に今すぐ移行できるというもの、いう施設を調査いたしまして最終的に再処理特別研究棟等、プルトニウム研究1棟、それから、
0:08:41	プルトニウムな燃料第2開発室、それから隣県等燃料研究棟の4施設を今中長期計画の期間で、
0:08:52	昆企画検討しております。
0:08:55	9ページになりますけども、この表の中で、変わったところはこの表の上に、先ほどの再処理施設を優先するですか、
0:09:06	そういった言葉がありました表がありましたけども、記載がありますけどもそこは削除いたしまして冒頭持ってきましたので、表の中で優先する施設ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:18	赤字にしております。下線がついてるのが、プルボックス有するプルトリウムの取り扱い施設ということで記載されておりますので、プルトリウムの取り扱い施設ということで記載しております。
0:09:31	残りの廃止措置の予定ということで、まず、先ほどの4施設の残りのプルトリウム系ボックスにする施設が、
0:09:42	古内と言ってもプルトリウム第一開発室とJFMMⅡというのがあります。これが優先になります。
0:09:50	あとは運営の表の下線がない、黒字の方も、松田の施設につきましては、リスク低減と、その予算状況等に応じて、はい装置の優先をまた検討して計画を策定した上で、
0:10:04	実施していきたいと考えております。
0:10:07	それから10ページは後でご説明あるかと思えますけども昨日嶋管理官との面談でもありましたけども、その45施設の、
0:10:17	現状と実質上は措置の実施状況と今後の見通しというのを、ここを示した後で、画面経歴を説明各部からちょっとわかんないですけどもご説明させていただきます。
0:10:31	それから11ページが、こちらが今、この第4期中長期間で実施における施設の移設計画ということで、
0:10:42	今、別にちょっと優先的に、別にやっております排水処理室というのを、今やっております。これの管理解除の目指しはニチコン、今年度末を目指して、
0:10:57	今計画して
0:11:00	やっております仲野設備の解体ですとか、解体後の汚染検査を行いまして、管理区域解除を行いたいと考えております。それから、プルトリウム研究員等につきましては、今年度からですね、
0:11:17	グローブボックスの解体撤去を始めていきまして、このプロジェクトにつきましては、本坑の海岬設計法では令和9年ごろに管理区域を解除するという予定で動いています。
0:11:28	それから再処理特別研究棟につきましても、昨年度からグローブボックスの解体等行っております。表の中にありますけどあと施設の設備関係の解体撤去を、
0:11:40	順次進めていきまして、こちらの方は、
0:11:44	今のところを、令和17年度の管理区域の解除を目指しております。
0:11:49	それから、プリニーの方につきましても、昨年度からグローブボックスの解体、土木は非常にたくさんございますので、グローブボックスの解体撤去をメインにやっていくのと、
0:12:01	施設内にあります核燃料物質の集約を、令和7年度までに終える予定でおります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:07	それから刀禰、こちらはまだ佐々
0:12:12	今、こちらも受中旬も、目標としては今、令和 10 年度に、管理区域解除ちょっとできなくて施設のこの解体廃棄解体等で発生した廃棄物の、
0:12:26	保管施設として、ちょっと便宜活用していくと、というようなふうに進めていきたいと思ってます。それから燃料研究棟の方も、今核燃料物質集約搬出を今年度から行っておまして、
0:12:40	それと並行してこちらもグローブボックスが非常に多くございますので、グローブボックスの解体撤去をメインに所令和 14 年ごろまで。
0:12:51	進めていく予定にしております。
0:12:55	12 ページカラー 5 ページまでは特に前回と記載に変更ありません。から 16 ページにいていただきまして、モデル事業になりますけども、こちらも
0:13:09	一番下のところですね、
0:13:14	モデル成果の成果、モデル事業の成果につきましては、機構内の定着を図っていくということでもう少し具体的にどうやって図っていくのかっていう。
0:13:25	ご質問等ございましたので、技術資料でありますとか、映像によるアーカイブ化それからデータベース化としてそういった成果をまとめまして、廃止措置。
0:13:38	を進めます。後続部署に、随時展開していくことで、定着を図りたいというふうな記載に修正しております。
0:13:47	廃止措置の主な変更箇所は以上です。
0:13:50	まとめまして、ここでちゃんとしております。私たちの地域講座に続きまして、一色小疇につきましては議会からご説明いたします次のスライドお願いいたします。
0:14:06	前回の資料ちょっとですね、原子力廃棄物と、あと何処理の廃棄物の説明がまじっていてわかりにくいということでしたので、この、
0:14:17	目次の通りですね前半、原子炉系廃棄物後半、処理の廃棄物というところで、分割してご説明するような形に構成を改めております。
0:14:31	次のスライドお願いいたします。これがですね、原子炉系廃棄物のキャラクターゼーションの状況で、
0:14:42	ちょっと処理廃棄物と同じ表になっているんで、もう一度人が出てきますけれども緑の部分が原子炉系の廃棄物です。
0:14:53	その中でもですね元科研とそれからふげんを今最優先にですね、対応しているというような状況で、この二つの種類の廃棄物については、
0:15:06	いただくといずれもかなり進んでいるという状況です。
0:15:10	その都度後に行くですね大洗研饅頭、それから雨森というのは、少しキャラクターゼーションはこれからは、赤井湧永より若生須藤遅れているというような状況です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:25	次、お願いいたします。続きましてトラクターリレーション部内の物理化学性状の把握の部分ですけれども。
0:15:36	原子炉系廃棄物は特に何か課題があるというようなものではないんでも、廃棄体製作に向けたですね分別をもうドラム缶上げて次々とやっているというような状況で、
0:15:50	そのフローを簡単にここで説明しております。ここに書いてあります通りまず、
0:15:57	処理。
0:15:59	猿田ダム内ですね、左下の除去対象廃棄物というものがあるんですけれどもこういうものを、
0:16:07	分けてですね燃やしたりですね蒸発乾固したらいいんでちょっと今まだどうするか決まってない。有害物等はそのままプラリア伸ばせるという状況です。
0:16:22	それから残りのですね廃棄体製作にマウス廃棄物につきましては、
0:16:28	2、下のですね、枠にあります通りですね
0:16:35	充填固化体を作るところを考慮してですね強度分類をしたりですねあとは、
0:16:40	モルタルが入っていかないようなものについては分解をしてちゃんと入っていくようにするというような作業をしております。次のスライドお願いいたします。
0:16:52	これは前回とほぼ同じで放射性核種ですね逆転キャラクタリゼーションの状況を示したものですそれで、
0:17:04	前回はですね、これに使っている基準類を別表で示して0は変えづらいということだったんで、
0:17:15	このプロセスの中に下の方にグレーで、うちで、うちのJAで製作しているガイドラインを示しているんですけれども。
0:17:27	全体のプロセスにあるわけではなくて今あるのは、この重要核種の選定とかですね、分析のところではなくて、今あるのは、流量片付けることですね。毒島さんの評価の構築といったところに、運営ガイドラインがあってこれに基づいて、
0:17:45	やっている。他の部分はですね、状況に応じて、若井統括本部の相談、各拠点と相談主義ながら進めているというような状況です。次のスライドお願いいたします。
0:18:00	こちらからは全廃と全く変わってなくてですね原価県での、
0:18:07	ほとんど評価方法の構築の状況の例です 2324 と同じですんで、
0:18:17	25 ページまでお願いいたします。
0:18:23	こちらも前回とですねほぼ変わってないんですけれどもちょっと見た目だけ変わってます。
0:18:33	上にある青い枠とオレンジ色の枠が下に出ていたんですけれども、上上に持っていったというだけで基本的には

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:45	考え方としては、まずは、保管中の廃棄物の安全を確保することと、
0:18:53	将来のリスクをですね低減するためにできるだけ早くですね、埋設を進めていくと、このために廃棄体を作っていくというような、
0:19:04	考え方で進めております。
0:19:06	次のページお願いいたします。
0:19:11	この部分が原子炉系廃棄物の具体的な計画が書いてないということで、真ん中のオレンジのところですね原価研ふげん、大洗研等の、
0:19:26	計画を受け、計画というかこれまでの実施状況と、そう。
0:19:32	令和 10 年までですね、の計画を選定しております。
0:19:38	放射能評価法構築につきましては原価県ふげんで進めておりまして、
0:19:45	この後、3 年くらいで基本的には構築しようというようなペースで、これが進めてきております。これに続く大洗研がですね、今年からようやくですね、
0:20:00	学習分析泊的に始めつつあるというような状況です。
0:20:07	それから廃棄物の分別につきちょっと、
0:20:11	植田廃棄物の分別につきましては原価研ふげんでは、だかなり前から着々と分別を行っているということと、
0:20:21	あとは廃液の固形化ですけども、長田和気はもうもう何十年も前からやってきておりますけれどもふげんにつきましては、
0:20:32	今ですね今後、今後ですね、製作をしてですね、今、今後ですね、製作をしてですね位から廃液の運転を始めようというような計画になっております。
0:20:45	次のページお願いいたします。
0:20:49	次が、ここからがそれが廃棄物の状況にありますけれども、
0:20:56	こちらにつきましてはですね、主原型原子炉系廃棄物に続いてやっていくというような計画になっているんで、
0:21:07	原子炉金は廃棄物に比べるとそんなにからくりゼーションは進んでいないというような状況で、
0:21:14	その中でもですね往来話題は、ほとんど進んでないと、今基本的には原子炉、原価県のですね、圧縮体の辺りを進めているということで、
0:21:29	内容物どんなものが入っているかというようなものの確認とかですね。
0:21:36	あとは、どういった核種組成のものが入っているかというようなところを、
0:21:43	細かい分析まではなかなかできないんで、我慢で決まった分析の中崎を測定したりですねそういったもので今、中身を開けたりゼーション進めようとしているような状況です。
0:21:56	次のスライドお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:00	それでこちらがですね内容物代が入っているかを確認ということで、左側がですね、今まで大体 1000 万弱くらいやってきた中で、どんなものが入っているかと。
0:22:14	というようなものを示したものですけれども、分別しなければ示したものですけれども、ベリ―遺伝、水銀みたいなものはですねもう、
0:22:24	10%未満ですすいませんこれウエートパーセントで書いてあるんですけれども。
0:22:31	ベースにしますとですね大であるんですけれども、左の頻度グラフを見ているらうとですね鉛や、6.8%となってるんですけれど。
0:22:43	そんなものなので、非破壊でですね鉛とか水に入っていないと、ことが誤認できれば、
0:22:50	基本的な分別は不要ということなんで、鉛、水銀、推認みたいなものをですね、分、掲出するXaCTを今開発しているということで、
0:23:05	前回ご説明をしております。
0:23:10	それから、ご説明をしていただきます。
0:23:14	5 ページをお願いいたします。こちらは、その評価法をですねどう構築するかということでこれは前回と変わっておりません。はい。次、次お願いいたします。
0:23:26	こちらですね意見交換会についてもですねちょっと前回と少してにをはの部分少し変わったぐらいで書いてる内容は変わっておりませんので、
0:23:37	説明を省略いたします。
0:23:41	廃棄体化関係は以上です。
0:23:46	続きまして、技術開発につきまして、原子力機構の中澤よりご説明させていただきます。
0:23:54	いただいたコメントにつきましては枚数が多くて時間情勢なども少し、個別技術等の説明を参考に入れて大幅に短くすると。
0:24:05	というようなコメントをいただきましてここに大幅に指導いただきましたので、前回小俣イトウ委員が生井説明資料ございましたがそのうちその個別の技術につきましては参考資料として 4 枚。
0:24:17	藤藤野に移動させました。で、残る 3 枚につきましてはさらに内容を少し省略する視点が 2 枚に収めたというところです。で、
0:24:28	この説明資料でございますが、前は位置付けということで第四期中長期計画の技術開発に関わる部分を少し記載しておりましたが、
0:24:41	おりますが、にそれは方針に取り組んで方針を作っておりますので、技術開発の方針というところで説明させていただくということで修正しております。なお、方針のところには

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:53	4 ページでもご指摘いただきましたが、技術開発ですけれども安全の確保を大前提と利益は同意をさせていただいております。
0:25:01	それからテーマの選定フローのところは以前は、途中が二つついていたんですけどもそんなそれほど重要な情報ではございませんので、重要ななくて、
0:25:13	わかるような内容に少し見直しております。
0:25:16	それから次のスライドお願いします。
0:25:20	次は内容は書いてございません。2 倍で開発テーマのところをセンタリングしているというようなところを修正しております。
0:25:29	それから、次以降ですけれども参考の方は、
0:25:34	以前の個別の技術を 4 枚特に修正は、変更がなく、タイトルだけ見直して移動しております。以上でございます。
0:25:46	それで説明は以上です。ちょっと補足で付け加えますと、前は調整中だとか、そういったところを付けておりましたけれども、これについては飯野からちょっとご説明する。
0:25:58	最初の計画以外のところは、調整中ではなくて今回フィックスということでご説明をしております。続きましては磯市の計画についてお願いいたします。
0:26:11	はい。他系統企画本部の岡村です。こちらへと調整中結構含まれますので画面共有にてですね 45 施設の状況についてお示しさせ、
0:26:22	いただこうと思います。一応表として前回の面談で、フォーマットをご確認いただいてそれでOKだということなんでその形式に従ってこういった形で今まとめております。
0:26:37	大方の中身は大津リーダー以外の方なんですけど組合を埋まっている状況でございます、あと最終的なチェックということで関係者の確認中という状況になってございます。
0:26:52	一応、表の構成としては準備作業とあと実際の話ということで分けてその上で準備作業には許可等で含まれると思いますね許認可対応と協議会以外の、
0:27:05	例えばそのまま書いてます通り汚染の調査であったりとか廃止の方法の検討と、実際のその現場の作業伴わないものはこちらの準備といったところの許認可以外のところにカテゴライズして整理をしているという教育になってございます。
0:27:20	一方で実際のそのはい肥満ないの改定適してますとかいったものについてはこちらの施設の端の方に記載しております、ただすべての施設で現状現場の改定撤去等実施しているわけではないので、
0:27:36	そういったものについては令和 4 年度の実績や、計画、令和 5 年の計画がなかったものについては、こういった施設の維持管理を継続実施といった記載で統一をさせていただいているという予定になってございます。こういったものが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:51	全部で 45 施設あるといったところ全部でちょっとA4 の縦長の紙で 4 枚程度ですかね、
0:28:08	で整理をしているという状況になってますちょっと面だけまだ埋まってないところをちょっと色つきに示してますというところですよ。
0:28:16	簡単ですけど、説明は以上となります。
0:28:24	はい。それではすべての説明以上となります。
0:28:29	はい。規制庁渋谷です。ご説明ありがとうございました。
0:28:33	そうですね、ちょっと最初に申し上げなかったんですけどこの 45 施設の資料については、情報収集中ですってことであらかじめご連絡いただいておりますので、そのことを
0:28:46	お断りしておきます。まだですね、
0:28:50	6 月 16 日に、のフォーマットについての問い合わせがあったんですけども、28 日の面談で回答しますということで、規制庁の方がしばらくボールを持ってたということもありましたので、
0:29:04	今、部長、想定を報告しておきます。ではスライドの中身について、順番に拝見させていただきたいと思います。
0:29:15	まず第 1 章のバックエンド対策の方針及び組織についてということで、まず 4 ページになりますけども、前回の面談で、この優先順位の決め方について、バックエンド対策費用が前面に出るようですね。
0:29:34	本来、安全の確保、リスクということを考えて、順番を決められたかと思しますので、それがわかるような表現にしてくださいということでお願いしまして、
0:29:44	それについては、そのように、読み取れる内容になっているかと思います。
0:29:52	次の 5 ページですけども、前回廃止措置に、手段を置いた形でご説明いただきますけれども、今回は技術開発及び現場実装。
0:30:04	核燃料廃棄物処理人材育成について、バックエンド統括本部がどのような役割を果たしていくかということについても、具体的にご説明を。
0:30:15	いただきましたので、5 点もわかりやすくなったかと思えますけれども、規制庁側から何かコメント等ございますでしょうか。
0:30:37	規制庁イトウですけども、今回成果で修正をいただいた箇所ではないんですが、中身の確認をしたいという意味で、7 ページ目をお願いします。
0:30:50	中身というか、記載の意図を確認したいという意味なんですけれども。
0:30:57	上から二つ目の枠のところ 36 施設の廃止措置の状況というのを、
0:31:04	記載いただいております、ちょっとそれぞれのポツについて確認したいんですけども。
0:31:11	一つ目のポツが

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:14	今年度の排風者の不透明さね。
0:31:17	将来の計画の作成が困難であるってということなんですが、
0:31:21	求めている資金がないので配送自体が進められませんっていう、これ予算の供給もⅡの関係はあるってそういう意味合いでいいんですかね。
0:32:01	城江崎です。ここのイトウは、ですね予算がないから、廃止や廃止措置が進められないと。
0:32:13	という意味ではなくてですね、原子力機構というか国立研究法人は全部そうなんですけども予算が、来年度、毎年度、
0:32:25	一番大きいのは何か1年ごとの単位でしか来決められないんで、
0:32:32	長期に渡って、あることができるかどうかっていうのは、
0:32:38	100%確実にできるわけではないんで、そういう意味で一応長期的な計画を立てることが難しいという意図で書いております。
0:32:52	規制庁の伊藤です。クイックを作りました。
0:32:59	それは
0:33:01	その金額の多寡っていう意味ではあまり問題は生じてないってということなんですかね。
0:33:11	すいません。ちょっと今、歩通信が悪くて最後の一言が聞き取れなかったんでね。もう一度お願いいたします。はい。規制庁伊藤です。
0:33:22	複数年契約の話は次のポツでもされて見てやり方の話にも変わるのかと思うんですけれども。
0:33:34	その予算の多い少ないの問題はあまり発生していないという理解でいいですかね。記載の趣旨はわかったんですが。
0:33:52	はい。現状機構サービス性を、
0:33:56	予算、多い少ないは予算が多ければ多いほど、
0:34:03	早く進んでいきますし、同じ予算でも好意的にやってた方がですね
0:34:14	なんすかねもう物事早く進んでいくんでまあ、
0:34:17	できるだけ不都合時期にやって、はい、進めていきたいということで複数年契約とかですねこういったものを
0:34:28	詰めているということなんですけれども、多い少ないっていうのは社100年計画なんで100年先をまで考えると、
0:34:42	いろんな予算が大きい予算も出てくる施設が出てくるんですね、そういうことも考えるとですねやっぱり予算を今後確保する方法を考えていけなければ駄目だと。
0:34:57	いうところが課題になっていくと、考えておりますけれども。
0:35:03	そうなんですからここ数年では措置をどう進めていくかというところにつきましては何とか機構の予算内で工夫しながらですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:15	進めていくのかそんな課題がないわけではなくて、今の新型炉とかいろいろものに予算がかかりお金が剥げか予算が必要になりますけれども、
0:35:28	そのせいで全く配措置が止まるというわけではないですけどもこちらもできるだけ早く最初進めたいという意味では、
0:35:39	できるだけたくさん予算は確保していきたいと思っておりますんでそういったところを調整しながら進めていくということで、
0:35:51	なんすかね。大きい課題ではないですけども、か、小さいというか、課題とは認識しています。
0:36:03	ちょっと意図が伝わりましたがね。
0:36:06	きちんとです。
0:36:08	予算の確保は課題ではあるけれども当面は合理化の範囲で影響がないように進めていきたいというそういうご説明ですか。
0:36:18	そのような、ざっくりまとめるとそういう意図で話しております。
0:36:24	ありがとうございます。
0:36:26	続いてちょっと合理化っていう話と関係するんだと思うんですけども二つ目のポツのところは、
0:36:33	これはだからこれまでのやり方を変えて、その合理化を図ることによって、手続き論的な意味で、その改善は可能だということで、JA内の存在的な問題。
0:36:49	であるとそういうことですかね。
0:36:54	現職の北川ですがその通りでございます。機構内での対応で意見対応します。はい。はい。ありがとうございます。規制庁伊藤ですけども三つ目のポツについては、
0:37:05	これ普通、処分場が決まらないからその廃措置、解体。
0:37:12	これは解体搬出ですかね、が進められないっていうより、企業員は根っこにあるってそういうことですか。
0:37:22	一つはですね、やはり筒市今貯蔵施設がありますやっぱりどんどんそっちちゃうからそちらの処理処分処理の方に、次の施設に対して、
0:37:32	行かないと駄目なので、あと廃棄体化するに処分するにあたって廃棄体化しなくちゃいけないんですけど、例えば廃棄体化する施設もこれからつくっていかなくちゃいけないので、そういったことで今、そういった、後工程の方がちょっとこう、
0:37:46	進んでないので、こういう問題があるということになるかと思います。
0:37:52	ありがとうございます。
0:37:55	すいません。原子力機構ササキですけども、追加説明しますと、
0:38:03	廃棄物の保管容量を古谷ふやせばですね、当面、ここの問題はなくなるんですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:15	保管容量をふやすために地元の自治体の了解が必要になりますんで、
0:38:22	今まで、大量の廃棄物を出してきて、それが処分が逃げないような状況になっていてですねなかなか、
0:38:32	地元とのより多く調整もですね難しいと。
0:38:37	というような、
0:38:38	状況になっておりますのでそういった点です。そういった点なんですから保管容量をちょっとふやせない、ふやすも難しいというところと、
0:38:51	処分場がまだできていないんで廃棄物の行き先がないでも廃棄物が減っていかないという、両方かと思っております。
0:39:02	一つ、戸部さんの背景は理解いたしましてありがとうございます。それから細四つのポツなんですけれども。
0:39:14	就学遅延と機能移転支援。
0:39:20	非農用地の遅延っていうのはどういう意味なんでしたっけ。
0:39:27	例えば試験機能とか研究開発機能を、を移転するということです。例えば分析装置とかですね、そういった設備を
0:39:38	設備、基本的な面は、他施設へその設備とかを移転していくっていうところがちょっと遅延してるというところでございます。
0:39:48	ちょっといただきありがとうございます。それから施設の共用部みたいな話ですかね。それに伴って、やっぱり許認可手続きが必要に、
0:39:59	なるけれども、それは進んでいないということですか。
0:40:12	許認可変更はどう、どういうことっていうことで、ご質問でしたっけ。施設の方法なりをするにあたって、その許認可手続きが必要になってそれが進んでいないということなのですかという質問です。
0:40:38	まあ基本的は許認可の方が遅れてるっていうわけではないですねむしろ整備する方の対応がちょっと、現場の方の対応がちょっと追いつかないっていう感じですかね。
0:40:52	規制庁伊藤ですけれども、手続きと、法令手続きは進んでいるんですけども、その後の整備が、
0:41:05	順調に進んでないっていう。
0:41:07	意味でしょうか。
0:41:11	すいません各拠点の機能の意見の許認可でちょっと私把握はしてませんが、許認可手続きが行っても、何かちょっとそちらの設備の移転例えば、
0:41:23	場合によっては新しい分析装置とか買わなくちゃいけないんで、そういったところの整備の準備とかがちょっと間に合っていないのかなって思ってます。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:33	東京事務所どう問題です。ちょっと私が昔、お笑いとかちゃんと教えてもらいましたんで、その辺の事例的な話で言いますと、
0:41:43	例えば、結局開発施設を今後、集約して運用するというふうになると、元の施設でまだ研究開発やっていたりとか、その装置を動かしたりしてですね。
0:41:57	その切り換え時期をどうするかと。当然ながら古い施設でやってる研究を、新しい施設の方での研究に移転していくと、その切り換え時期と、
0:42:10	それから、受け払い出し側受け側装置の払い出しが受け側で、やはりその両方平仄をとった準備をしないといけないとか、
0:42:20	そういったことのもろもろの調整もありますので、それがやはりちょっと、なかなか、何ていうか、スムーズには、
0:42:31	移転の検討ができてないというか移転するために、様々なところを下確認しないといけない。その枠組みが決まれば、手続きが始まって、
0:42:42	それで移転していく形になるんだろうと思いますけども、そういった現状かなというふうに考えております。
0:42:53	清齊藤です。今おっしゃっていただいたのは例示としては、
0:42:59	必要な許認可手続きが終わった後で実際に機能移転をしていく際には調整が必要なので、
0:43:10	時期を選んで、行われるものがあるってそういうことですよおそらく。
0:43:18	手続きもありますし、研究開発のその試験作業みたいなものも、期限いつまでにこのデータ出すとかっていうものもあります運用しをずっとしてる。
0:43:30	維持管理だけなら、多分今伊藤さんのおっしゃられた通りだと思うんですけども、研究やってるところであれば、その研究の終末期、いいと。土肥。
0:43:40	移転時期のバランスかなってところなんで、両方の理由があるかと考えております。
0:43:48	いや、ちょっと規制庁の磯部さんありがとうございます。
0:43:52	あとご決断狭くなっちゃいましたけれども、五つ目のポツについてはこれは
0:43:59	書いてある通り、その外的要因に起因するもので、
0:44:04	方が予算制約みたいな話もここにあるんですかね。ちょっとお金を払えばやってもらえみたいな話もあるのかとか、
0:44:17	減少機構の北川です。お金を払えば多いっていうわけではなくてやっぱりはい。いろんな拠点で一気に何件も何件も廃止措置の工事をやると、工事をやる、受注する会社も少ないしそれを請負う。
0:44:31	受注メーカーの方の人手の話もありますんで、
0:44:35	一気に例えば脾腫 10 施設一気にできますかっていうと例えば、それをこちらでお金を用意して計画してもそういうメーカーが、準備が、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:50	整備されてないってところかなと思ってます。
0:44:55	規制庁いただいてありがとうございます。
0:44:59	大体ファイアの記載については、わかりましたのでありがとうございます。
0:45:05	生徒シブヤですけども、スライドについては前回、師範の方から、
0:45:13	この着手する順序についてプルトニウムの方から、初話が始まっているけれども、公開の会合であること等も踏まえて、
0:45:23	付言門柱も含めて、全体的な順位づけについて説明を追加してくださいということで、このスライドの上の方の記載が追加されたかと思うんですけれども、初版としては、この修正。
0:45:38	内容について何かコメントございますでしょうか。
0:45:42	規制庁直していただいてありがとうございます。1点だけ教えて欲しいんですけれども、7ページの上の四角の廃止措置の方針で、
0:45:54	今、管理区域解除までっていうふうに書かれていて、矢印で、
0:46:00	施設が抱えるリスクは一般施設と同等であるんですけど、こういう一般施設っていうものは何で、その抱えるリスクが何で、
0:46:12	何か同等なのかっていうそれがちょっと中身を教えてもらえますか。
0:46:19	ここで言ってる一般施設ってのはもう普通の他、一般管理区域がない縦、建物です。
0:46:26	そういった施設周り、今原子力規制庁の宗我々ビルとか、
0:46:32	普通の工場町工場の施設とかそういったところと同じような施設と同等ということでございますので
0:46:40	住む施設がかかるってのは原子力、管理区域キー要はごめんなさい排水対象施設が抱えるリスクは、普通の事務所とかそういったところと同じレベルになるということでございます。
0:47:00	一般施設と同等になるのはもう、管理区域解除された後の話ですか。
0:47:07	そうですね区域解除すれば一般施設と同等になります。はい。そういうことです。
0:47:15	それで管理区域が解除後ですいません。
0:47:20	タツモトですわかりました。
0:47:23	それはもうちょっと明確に書かれた方がいいですかね管理区域解除窓口って矢印です。そうすね管理区域はまでがそうですね。そこそわかりました。そう。おっしゃる通りです。はい。
0:47:37	私から以上です。
0:47:41	ページについて他に規制庁からありますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:47	じゃなければ次 8 ページですけども、ここに、Kとシブヤですけどもここについては前回選定の順番についてリスクを、リスクの種類を複数の地区、
0:47:58	種類のリスクを考えて決めたということでそれに対して規制庁側から、
0:48:03	どういう施設に、どうぞ、リスクがあるかという関係性を、示して欲しいということで、今回上の緑の表のところの廃止措置対象施設と、この辺の記載を充実していただきましたけれども、これについて、
0:48:20	これは、
0:48:22	城間博士高根。
0:48:23	いかがでしょうか。
0:48:26	規制庁イトウですけども。
0:48:28	前回の資料で、例えば耐震とか高経年化と書いてあったって、
0:48:34	ああいうものがを削除した。
0:48:37	以下について確認してもいいでしょうか。
0:48:49	意図っていう、ちょっと前回ここ、四つぐらい書いていたのはちょっといろいろちょっと紛らわしいところもありましたので、基本的にこれは
0:49:00	何て言うんすかね今は措置を進めている施設の状態ですねこれ令和 3 年とか 4 年あたりに、
0:49:11	優先順位したんですけど、そのときの各施設の状況っていうと、いろいろあるので、その共通的なリスクとしては植野様仁木やっぱり漏えいと被ばくっていうのが、
0:49:24	基本的には出てくるのもう、
0:49:27	それこそそれを決めたという、そういう意味で高経年前、前回の面談では高経年化とか耐震性とか、そういったものも一つ一つ評価したんですかっていう。
0:49:40	ご質問があったので、いやそうではなくて
0:49:46	の取り込み機能ということと、用途被ばくっていうところでもうそこでフィックスして選んだっていうことにしておりますのでちょっとその、
0:49:59	前回はちょっとあります。貢献かとか、書かさせていただきましたけどもちょっと紛らわしいっていうかちょっとこう、
0:50:07	誤解運営のところもありましたのもう
0:50:11	この二つのリスクとしては、漏えいと被ばく等機能の閉じ込み機能というふうにもう
0:50:17	簡単に記載させていただきました。
0:50:21	計といったですね修正等わかりましたありがとうございます。
0:50:40	規制庁から 8 ページもしくは、それ以降でも結構ですけども何かコメントございませんでしょうか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:55	規制庁イトウですけれども、では 12 ページから 15 ページの間なんですけれど、ちょっと今回の修正は特段されていないくて、前は岡井方のコメントも踏まえて、
0:51:10	記載されていない課題への取り組みっていうのは、ついていただいていた場所なんですけれども。
0:51:19	法
0:51:20	それぞれのその取り組みについては記載いただいているんですけれども、その取り組み状況がどうなっているのかっていうところを、もう少し表現していただきたいなと思っております、
0:51:34	やること書いてあるけれども、現状どうなっているのか、ただ、令和 4 年度以降やられていることもあるので、それに対して、
0:51:44	安田結果どう評価をしているのか。
0:51:48	で、こんなにあるのかみたいなのが見えないなと思っております、
0:51:54	側溝。
0:51:56	まさに進捗について説明していただくということなのかなと。
0:52:01	思います。多分内容、項目によっては、別のページで、進捗を詳細説明いただいているものもあると思うので、
0:52:10	それはもう進捗はこちらのページでっていう飛ばし方もあると思うんですけれども。
0:52:16	詳細を説明しているところものだけではないと思うので、そういう意味で、それぞれの項目に対する施設の、或いは説明をいただきたいなと思っております。
0:52:30	はい。減少機構の多賀です。ちょっとこれについては
0:52:35	いつまでにやとか、現段階的にどうやってるのかとかちょっとその辺を、
0:52:44	段階的に変わってるところは、ちょっと詳しく書いてますけどもむしろこれいつまでやるのとか、
0:52:51	いうところもちょっと踏まえて追記したいと思っております。ちょっと説明の中では全部ちょっとしゃべってると時間がないところもありますので、メインは
0:53:03	いつまでも、いつまでと取り組む予定なのかとかそういったところのご説明を、時期をちょっと、取り組みの中に追記させていただいて、
0:53:13	またみんなでちょっとご確認いただきたいなと思っております。
0:53:19	廃棄設備等です。また取り組まれてるものもあると思うのでそういうものに対する評価というのにも忘れずに、地域お願いいたします。
0:53:32	当間所長からは、まだちょっと今取り組んでるまだや、4、昨年度から結構取り組んでる中身ですので、なかなか。
0:53:43	評価っていうのはちょっと書けないかなって思っておりますけども。
0:53:48	数がもう 5 年 10 年ぐらい取り組んでるんであれば何かその評価っていうところまで書けるんですけども現状、第 3、ここん中長期でやるに向けての第 3。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:02	毅然中、令和3年度までの取り組みについて出てきた課題について今こうこういうふうに取り組んでいますということでもまだ実際4年、1年ぐらいしか取り組んでませんので、
0:54:13	ちょっと評価というところまではちょっと、ご説明できないかなって思ってますがこれいつまでやるのっていうところは、ご説明できるかなって思ってます。
0:54:24	はい。既設の1ですけれども、衛藤。
0:54:28	予定通りを組んでいるのかどうかというような視点もあると思いますので、結果どうだったってことだけが評価ではないと思ってますので。
0:54:44	結果通り進んでいるのか或いは
0:54:48	着手できずに、進んでいないのかということも含めて、様を表現いただければという、イトウでを申し上げました。
0:54:58	はい、わかりました。その辺まだ未着手とか、着手してるところは状況とかそういったところを踏まえてちょっとまだ、ちょっと記載を修正とさせていただきます。
0:55:09	はい。よろしくをお願いします。
0:55:18	規制庁の渋谷です。16ページ目のスライドになりますけれども、
0:55:23	新しい記載ではないんですけれども、令和、黄色いところですね、令和4年度の主な成果で十分な資金を確保し複数年契約を進めることで大幅に期間を短縮。
0:55:35	括弧10数年から16ヶ月に短縮って非常に目を引く表現がありますけれども、
0:55:43	これは丸々施設でそういう事例もあったということなんでしょうかそれともそういう大幅に期間を短縮するスキームが確立したので、今後、
0:55:53	一般的にこういうスピードで進むというそういうことなんでしょうか。
0:55:58	はい。臨床機構の北川です。
0:56:04	これはモデル事業ですさ、今まさにこのような原子炉再処理特権でやってる中身で、グローブボックスの解体とかっていうグローブボックスが何件か解体するけど先ほど冒頭でも実際の工事の期間というのは、
0:56:16	1年間で5ヶ月ぐらいとかしか書い。
0:56:19	現場作業ってできないということで、それが幾つものグローブボックス型グローブボックス一基だと大体す。
0:56:26	そういう後5ヶ月ぐらいで3年ぐらいかかるんですね。そうそういうのがあって、そういう今やってるモデル事業の中で、やってる工事がそういうふうに単年度で5年間5ヶ月ぐらいしかできない工事であれば、10数年かかっ。
0:56:43	増えているっていうものが、今回複数年契約で、まとめて資金を買った、やったら今、大体、昨年度からやってますけども、今年度で終わると大体2年ぐらいで終わるというここはまだ工事は完全に終わってないですけども、
0:57:00	実績としてそういうのが出てきそうだなってところの記載でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:06	ありがとうございました。ある程度一般性がある成果だという理解でよろしいでしょうか。
0:57:13	そうですねはい。これはだからこういうことであれば今プル 2 とかもやってますけども複数年契約でやっていくと、そんだけ早く進んでいくお金をしっかり投入していけば、
0:57:24	特にグローブボックスとかそういう設備が多いところについては、非常に有効的な期間短縮に向けた有効な取り組みだと思っております。
0:57:34	瀬戸シブヤですよくわかりましたありがとうございます。
0:57:42	他に、第 2 章までで何かございますでしょうか。
0:57:50	えっと、
0:57:53	規制上必要ですけれどもすいません。あと、確認をしたいのは、
0:58:02	一番最後なのか免許有で、もう関係施設の、
0:58:08	対応状況の表へ示していただいてまして、
0:58:14	これ
0:58:15	をちょっと全体的にザッと見せていただきたいんですけれども良いでしょうか。
0:58:24	はい。承知しました。全体的にというと、
0:58:29	45 施設分ということです。
0:58:33	それをスクロールしていただく感じで、
0:58:37	はい。スクロール。
0:58:43	こんなケースで大丈夫ですか。
0:58:46	はい。石膏が進めた方がいいですか。まだですか。はい。
1:00:13	機構ナカムラです。これで以上ですかね。はい。はい、規制庁いただきありがとうございます。頭合わしていただいて、
1:00:26	これまでの話題で出てきましたが、要は廃止措置が止まっ新やっている施設っていうのがあると思うんですけれども。
1:00:38	該当するGと、具体的に例えばこの施設であるというのをお示しいただいてもいいですか。
1:00:47	書記中村です後回しっていう言い方が、どうなのかってのはあるんですけども現状では 4 年の令和 5 年度の中で、
1:00:57	具体的なその廃止をやる計画にない施設については、例えば今大森のハーグむつとか書いてますけども、
1:01:08	この施設の維持管理を継続実施といった記載になってございますのでこういった記載がある施設については、現状その廃止に係る現場の作業というのはやってないというそういう整理になってございます。
1:01:23	三つの場合は、私の理解ですと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:28	廃止措置計画は当然認可をされていて、計画通りにいかん。進んでいると。
1:01:41	営業処分の方法とか課題はあるものの、もう基本的にはその施設外に廃棄物、廃棄物の処分の仕方が決まればまた、
1:01:52	するという。
1:01:54	いうことだと思うんですけども。
1:01:58	それよりは
1:02:01	多分使用施設とかのかもしれないですが、
1:02:09	ICEA具体的な廃止措置を進める時期を待っている施設っていうのは例えばどういふものがありますでしょう。
1:02:23	減少機構ナカムラですそうですね例えば使用施設関係で言いますと、例えばDFなんかは今の許認可の手続きしておりますのでこういったもので許認可イワテックに関する許認可がられれば、
1:02:41	それに付随した設備解体とかがこういったところに入ってくるといった理解になってございますので燃研棟とかも今許認可手続きしてこういったものについて今後
1:02:56	何か整理つき次第、排出に移っていくといったところになってございます。そういった施設がちらほらと、あるというのが
1:03:09	現状となっております。
1:03:19	他で優先順位を下げているものっていうのはありますか。
1:03:26	だって使う。
1:03:27	あんこのナカムラですけど、優先順位を下げてるといふかむしろ考え方は逆だという理解でして優先議員挙げている施設が、
1:03:37	先ほどキタガワの方から説明があった通りツールを扱う4施設ということでその次に高いのがプールを扱うけど今治療中で今後廃止に。
1:03:50	向かってから施設っていうのが、その次優先には高いとそれ以外の施設は今後優先順位はが、それ以外の施設は現状優先には高いという状態ではないので、今後の予算措置とかの状況に応じてその優先順位をどんどん上げていくといったそういう考え方になってるといふ理解です。
1:04:13	予算措置の関係なので等で、今後、
1:04:16	優先順位を上げていくような施設っていうのは、言い方を変えれば予算措置っていう共通の、
1:04:26	方課題が、裏には背景にあるっていうことだと思うんですけど。
1:04:31	そういうものがわかるようなポイントを少し追記いただけるといいのかなと思ってるんですが。
1:04:43	原子力機構の赤間です。層位
1:04:47	ノウハウ記載があるのがこの表現だという理解。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:52	なんですけども。
1:04:56	古井は、
1:04:59	した状況等をよろしく。
1:05:07	なんで表の方にその情報を落とし込むとした場合には今申し上げたここで書いてるその赤字の施設であったりとか下線が引いてある施設とかその黒下線が引いてある施設とかそれを色分けとか明示的に示すことはできると思うので、
1:05:23	そういった整理でよければ話は大丈夫かなというふうな、いうふうには思ってます。
1:05:33	わかりましたじゃ、このページとの関係性がわかるように表現をいただければと思います。
1:05:40	承知いたしました。
1:05:49	規制庁シブヤですが、次は、戸田委員。
1:05:54	3章ですね、第3章の廃棄体化埋設についてなんですけども。
1:05:59	この章は新しいスライドが多いので、スゴウさんの方で順番にコメントしていただくとことは可能でしょうか。
1:06:09	規制庁スゴウです。まず整理いただいてありがとうございました前回のスライドから大分、ちょっとわかりやすくなった、なくなったなっていう
1:06:23	まずは感想です、その上でなんですけれども、書いてある古藤は基本的にそんなに、
1:06:32	わからないなとかいうところはないんですけど、いつちょっと進捗状況が若干わかりづらいなと思ってまして、原子炉系廃棄物にしても処理何廃棄物にしても内容確認プラス、
1:06:50	放射能濃度のISOの評価方法の構築っていうことをやっていく必要があると思うんですが、原子炉系廃棄物の元算の例として放射能濃度の評価方法の構築のところスライドで言えば22ページですね。
1:07:09	そこだけがちょっと進捗状況がわかるっていうのはあるんですけどそれ以外の、
1:07:15	ところがちょっとわかりづらいなと思ってですね、これちょっとわかりにくい。もう原子炉系廃棄物の内容物の確認が、
1:07:26	全体のばいいの確認が、全体で見られて、今は何万本とか何本ぐらいそのマス数進捗されてるのかっていうその、今優先的にやってるのが原価検討ふげんなんで。
1:07:41	もし可能であればどっちも数字が出ればいいんですけど、っていうところと、あとおんなじように処理な廃棄物の、スライドで言えば28ページで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:56	前回もちょっと 900 本会館調査実施済みって言って全体が 2 番組ぐらいっていう話があったと思うんですけど、その全体の对本数に対して、何本ぐらいできてるのかとかですねえと。
1:08:13	もう 900 本っていう会館調査が、その前のスライドで言えば、原価県のその他と大洗研のその他の全体の話をしてるのか、この原価県だけの話をしてるのかもちょっとよくわかんなかったんで。
1:08:28	そういうところを記載して欲しいのと、
1:08:32	あと 29 ページの方は圧縮体の放射能濃度の評価方法は今構築中だということでこれは進捗も何も無いっていうのはわかったんで、それはいいんですが、
1:08:46	衛藤。
1:08:50	しかし、何だっけ。
1:08:53	ごめんなさい。
1:08:56	その処理人廃棄物の方はその処理処分の進め方として今後の方針だとかスケジュール、
1:09:08	的な原子炉系廃棄物で言えば 2526 ページみたいなものがついてないんで、可能であればそこもちょっとまとめていただけるとありがたいなと思っ。
1:09:24	でます。私が今ちょっとコメントというか、指摘は以上になります。はい。
1:09:38	SAP研修機構ササキです。ありがとうございます出席ありがとうございます生徒まず、
1:09:46	そうですね一つ目の全体の、例えば相木物がどのくらい分別が進んでいるかというところですけども、
1:09:57	ちょっと原価券とふげんについてはちょっと何本日、今分別が終わってるかっていうのは、ちょっと。
1:10:06	どこかにちょっと今実際の本数はわかっておりますんで。
1:10:12	加えたいと思います。
1:10:14	それから、処理が廃棄物につきましては、まだやっぱり、スケジュール的には原価県、原子炉系廃棄物の後ということなんで、
1:10:27	ほとんど、ほとんどというか、大まかなスケジュールしかなくてですね具体的に何やってるかっていうところは、ちょっとさ、
1:10:37	お示しできるようなものはなくてですねちょっとそこは、
1:10:41	書けないかなと思っているのと、あとキャラクターゼーションのところなんですけれども。
1:10:48	下検品する原子炉系のところはもう課題がないでとにかくひたすら、分別をやってるんですけども。
1:10:59	それらのセクターについてはもう、あらかじめですねやっぱ 1000 千本ちょっと何%かは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:09	まだ決めてないけど基本的にはもうこの 900 本で止めてですね大体もう、
1:11:16	どれをやっても大体このぐらいの割合になってるんで、これをもとに今後どう対応してやってるんで、これをもとに、いうことを考えていこうと考えております。それで今進めてるのは、
1:11:32	原価県だけで、大洗研はまだ全く、この辺の分別は、問い詰めていませんっていうのが。
1:11:40	助教数を 1 回、倉庫に入れてしまうとまだ協議会を倉庫に入れてしまうと戻せるっていうラインがないですし、中身を開けて分別の施設も玄筧番場弁護士。
1:11:55	石井和気けども、ダイケンは、そういう施設がないんでまだその辺の計画もですね具体的に至っていないと。
1:12:05	いう状況なんでちょっと合意号には、何処理のところは答えられないと考えております。
1:12:13	規制庁のスゴウです。状況は、今、わかりましたんですけども、それを資料上示してくれればいいのかあと思って、衛藤安江そもそも 28 ページのスライドが原価権の話なのか。
1:12:31	荒木の話なのかしらもわからないんで、まずはこれは原価研の話ですっていうところと大洗研はそういう状況なんで今後っていうところとかをしっかりと示してくれればいいのかあと思っ。
1:12:46	言ってますそれから衛藤。
1:12:48	帆足君。
1:12:50	っていうか何、何処理廃棄物の、今後はX線CT技術でみたいな話も前回聞いたんですけど、いやいや、要は、
1:13:03	全体で何どれぐらいの会議があるのかが、まずわかんない 900 本開館しただけしか書いてないんで。
1:13:11	その 0 本ぐらいで止めてっていうお話でしたけれども、
1:13:16	その残り何番確かな前回二番本とかっておっしゃってたような気がするんですが、残り 1 万 9000 本だか何だかは、そのCT技術で、
1:13:29	衛藤、この技術が可能であればって使えるのであればっていう前提だったと思うんですけど、それで進めていくんだっていうようなところがですね、若干ちょっとわかりづらいんで、しっかりと示して欲しいっていうのが、
1:13:45	私のリクエストです。
1:13:52	はい、ありがとうございましたちょっとわかりづらいというお話なんで 28 ページは、原価権の話だと、いうことをちゃんと示すの到来県はまだ、
1:14:05	計画が具体化していないので今後考えていくというようなことを書くのと、県下県の 2 万本のうち、2 万本についてはここはCTを使って、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:17	処分することを考えていくというようなことを、地域いたします。
1:14:23	この対応でよろしいでしょうか。
1:14:26	規制庁は、ちょっと全体的にどれぐらいの会議があって今どれどこぐらいに かっているのが、ちょっとわかるように、
1:14:37	ちょっと資料作成それぞれを念頭に作っていただければと思いますんで私が指摘 させていただいたところへの対応っていう意味では、今のでとりあえずいいかなとは 思ってますんで。
1:14:54	ちょっと全体、また見てもらって、その観点ですね、
1:14:58	こういうのも入れたほうがいいかなっていうのがあれば、ちょっと。
1:15:02	どんどん入れてもらえればと思いますんで、よろしくお願いします。
1:15:07	はい、承知いたしました。ちょっと整理して出せるようなものは出していきたいと思 います。はい。以上です。
1:15:24	はい。他に、第3章について何かございますでしょうか。
1:15:36	第4章の技術開発のところについて規制庁シブヤですけども、一つだけ伺いさ せていただきますけれども、
1:15:45	JAさんに技術シーズ集っていうのはカラー刷りの冊子があって、私もいただいた ことがあるので、もともとシーズ等ニーズをマッチングさせていこうという取り組み 自体はあったと思うんですけども。
1:16:01	今回、バックエンドの統括本部として、例えばアンケートをとったりとか、
1:16:08	マッチングを促進するとか、そういった上で何かこう工夫したこととかはあるん でしょうか。
1:16:19	原子力機構の中澤でございます。
1:16:22	審議中ご覧いただきありがとうございます。シーズ集はこういったんですけどど ちらかというやはり研究者、研究よりの
1:16:33	ネタが多いものですから、現場で、
1:16:37	どういう具体的なニーズがあるかってのは、なかなかうまくマッチングする かどうかっていうのはもう保証がないというところがありまして、今回は
1:16:45	このアンケート調査につきましては特に現場でどんなニーズがあるか、それ に対して、その機構内で適用できるような、
1:16:58	郷他の機構内あるかっていうそのそこはかなり十分置いて、小売や条件を置 いて、そういったところから、べきできるだけその技術開発を、
1:17:09	行ってその現場にメリットがある、或いは廃止措置や廃棄物の処理処分 に対して、例えばコストメリットがあるとかその現場のメリットを考えて今回 テーマを選定している。
1:17:25	いう流れでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:28	規制庁シブヤですはい、どうもありがとうございました。
1:17:32	はい。他に、第4章について何かございますでしょうか。
1:17:45	なければ、この資料について改めて全体を通して何かございますでしょうか。
1:18:07	はい、ではこちらのスライドに関する
1:18:14	検討はとりあえず、以上にしたいと思います。
1:18:18	で、研究施設等の埋設の技術等の状況についてお伺いすることになっておりましてたけども、11時半とお伺いしておりました木の状況いかがでしょうか。
1:18:34	はい。住まいセンターサカモトと申します目的についておりますので説明可能です。ありがとうございます。では引き続きまして、規制庁側から埋設。
1:18:46	今日の立地について説明してくださいってことで新しく。
1:18:51	機構に依頼をしております、本日の面談資料として特にご用意いただいたものではないんですけども、文科省の原子力バックエンドの作業部会の、
1:19:04	ホームページに掲載されているところの資料である、研究施設等廃棄物、
1:19:11	埋設事業の状況について、いう資料がございますので、こちらを便宜的にたたき台として使って説明をしていただきたいと思います。なお比嘉氏情報については、質疑応答含めて、言及しないようお願いいたします。
1:19:29	ではよろしく願いいたします。
1:19:33	はい。それでは原子力埋設事業センターサカモトに説明させていただきます。画面に共有させていただいておりますこれ先月の終わり、6月30日5ヶ所の道路の原子力バックの作業部会におきまして、報告させていただきました資料でございます。
1:19:53	次お願いいたします。
1:19:56	都市の全体といたしましては立地に向けた取り組み状況、技術検討状況今後の取り組みとしております。次お願いいたします。
1:20:06	じゃ次お願いいたします。
1:20:08	立地推進活動等の概況ということで、立地方策の検討継続中ということで大きさの通り、過去の同じ一施設の立地で調査に基づきまして、1方策の検討や、
1:20:23	技術基準に対する評価方法を検討を進めているところでございます。
1:20:28	また、この立地をするに当たりまして、広報活動が重要だということで、広報活動をさらに強化を図りまして、配給発生者の方もご理解、ご協力ながら、
1:20:40	一般の方々へのわかり易い情報発信を進めるということで具体的な内容をその下に、いわばに書いてるものでございます。一般の方々の理解醸成もいたしましたパンフレットの配布方針や配布。
1:20:53	また事業紹介いたします道路を新たに作成いたしましたのでこれを配信をしているところでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:59	またSNS実際のツイッターでございますが、これからの情報発信を行っていることとあと、駒井先生関係の深い現収学会とかそういったところの、
1:21:10	積極の事業紹介をということを進めているということ、事業所数、こういった理解を促進するためのいろんな説明が必要になって参りますので、
1:21:21	職務のコミュニケーションスキル向上を図るという目的から、関係機関、こういった廃棄物発生者とか、こういったところが出るかということで負債知財センターの構成による現場とかそういったところへ、
1:21:33	職を派遣いたしまして、具体的にどういったことを行われて、他階級がどうやって発生するかと、そういったことも勉強するということ。
1:21:43	行ってるところへちょっと言い訳いたしまして、小浜安保等が攻撃とかございまして、研修参加と。
1:21:55	こういったことを行っております。またマイセン事業計画検討の継続ということで、当方の廃棄対象となる廃棄物の処理は、首藤業務部の蜂谷首藤見込みと。
1:22:07	要するに、エクスプローラーを実施しているところでございます。次お願いいたしますと4ページでございますが、先ほどありました広報活動の概要ということで、4ページにおきましては、
1:22:18	例えば原子炉学会の関係者というところに関しましては、原子炉学会の玄海とか等いろんなところで、技術講座とか、IEの講演とかこういった
1:22:31	を進めているところでございます。また医療関係医療関係の背景中ございまして、医療関係の学会での展示得を進めているところでございます。
1:22:42	また一般の方に対しましては後方支援基準掲載とか、先ほどちょっと評価対象には動画の制作とか、そういったことを進めておるところでございます下の写真はそういう点は、展示とかでの様子を写したものでございます。
1:22:58	次のページお願いいたします。
1:23:00	5ページ目ですが、これ一般の方々への広報の一部でございます。植野保育所にございますなお原子力機構全体の高校しま未来元気というのがございます。
1:23:13	この中で、3月号におきまして、
1:23:16	とげ埋設事業について後で取り上げていただいたところでございます。若手職員も活躍をすとか、事業の必要性とか、どういうふうに安全確保を行うかと。
1:23:27	いうことを紹介したものでございます。原価は施工部様 8500 と聞いております。これ自体もウェブに公開しているものでございます。
1:23:35	また埋設事業の紹介動画の制作ということで、これはもうマルシェセンターのWebされて公開できるものでございます。これ
1:23:45	また動画自体は原子力機構J2チャンネルというのがございますが、この中に掲載しておりまして、ユーチューブで見えるという形になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:56	次お願いいたします。次の技術検討の状況でございます。次お願いいたします。7ページですが、廃棄体受入基準検討状況ということで、左側の青い、
1:24:12	色つきました表が
1:24:14	埋施設への受け入れ基準の検討状況とちょっとまだ概要を示してるので、かなりまとめて書いてしまってますけども、配給対応集に応じまして、その配管仕様とか、
1:24:26	向井福間で化学物質にどう対応するかとか、補助の基準とかこういった検討を進めているものでございます。
1:24:34	右の
1:24:35	緑色の、
1:24:37	この表に関しましては経理基準だけ作って、実際どうやって済む気適用させる間作るかという方法も必要になって参りますので、
1:24:48	それについてもこれ統括本部前提で検討しているところでございます。特に
1:24:55	交換樹脂とかこういったものをまず処理方法とか未確定とございますので、こういった検討してるとかです。ね。まず何十店舗ポイントとかを進めているところでございます。
1:25:07	また右の方に放射能評価手法等でございますが、原子炉施設はご存知であるとも確定確立しているところでございますが、現場の前の発生施設の種類管理多いですので、
1:25:20	それぞれの施設から出てくる排風に対しまして、温度の評価をするかといったところの検討を進めてというところでございます。
1:25:28	次のページお願いいたします。
1:25:31	8ページは、今一定の受入基準等の関係として間野ハウス廃棄物処理をされます事業所と排気が発生する方と、
1:25:41	どのような環境もなるかということ、ちょっと細かいんですが一応図に表したものでございます。
1:25:48	左側の青い高 8000 で困ったところ一番左が埋設事業者と書いておりますけども。
1:25:55	当方に関しましては信田移転場所が決まれば、埋設基本設計と事業申請に移るということでございます。高裁におきましても廃棄体がどのように見えるかということは聞いた種類とか物量とか性状とか、
1:26:11	当然の重要核種、放射能とか、まず放射能濃度、こういった情報が必要となって参ります。5年間したりしまして、右の方で赤い破線で困ったところ、
1:26:22	ちまうの方見ていただきますと処理を行う処理事業者等が配給発生させました方々から、今言ったような埋設する基本設計とか、事業申請に必要な、
1:26:35	まさに萩谷首藤埋める種類とか物量とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:39	廃棄テングウ用とか、核種ごとの放射能の放射能濃度はケンセイジョウとかどういったものを使うときには、
1:26:47	いろんな変わつ物質特に環境影響してもボイド率入っていくか入ってるかとか、こういう情報が必要となり、ご提示いただくということが必要になって参ります。
1:26:58	ちょうど真ん中に要綱の発生をかぶせたところに関しましてはこういった情報に関しまして、先ほどありました、経営基準とか、標準配達政策法了承を介しまして室長と。
1:27:12	それ事業者等でいろんな協議を名倉決めていくという、こういう簡潔表したものでございます。
1:27:20	次のページお願いいたします。
1:27:23	8 ページは全体の大きな流れを示したのですが具体的なちよつと年度展開を落としても、
1:27:30	フウガ 9 ページでございます。
1:27:33	基本的な情報は 8 ページと同じ目でございますが、立地場所が決定いたします都丸線センターの方では、秋田受け入れ基準より具体的検討とかですね、嶋先生、大木ホーム設計評価。
1:27:48	調査請求ということで、規制庁規制委員会の適用税審査するということでございます。それに必要なデータを、一番下に書いてございますが一発生者。
1:27:59	それ事業者からデータをいただくということと、全然進んで参りますと入って確認の作成とか、
1:28:07	いうふうに進んでいくというような時間の流れを書いたものでございます。
1:28:12	次お願いいたします。10 ページ、次、次お願いいたします。
1:28:17	こういう取り組みでございますけども、立地につきましては、最初ございましたように 1 方策 1 キリンの評価保育園と進まなるべく総検出がかかってと。
1:28:28	そういったところでございます。またこの活用いかんという、そういったところでございます。昨年度以上に積極の広報活動の推進、専門外経費と通常退職のコミュニケーションスキルの向上を図ると。
1:28:40	いうことを出してるところでございます。技術検討につきましては、原子力規制委員会での事業に関する審査審査会合ちよつと業務電算ところ。
1:28:51	進められてるところでございますので、こういった議論を踏まえまして、埋設に基本設計に反映すべき施設の設計見直しを進めているところでございまして、立地を速やかに事業申請に行えるよう対応を行っているといったところでございます。
1:29:06	次、お願いいたします。最後でございます。また先ほどございましたように、経歴基準の整備を行っても継続いたしまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:17	会議仮称に会場までが進められるように、発生した方はまず処理事業者の方と、状況を進めていくといったところでございます。真ん中の山根部に対しましては安全規制制度、周知をお願いしたい。
1:29:33	ところでございます三つ目も同じでございます、両方関係のお話でございます。
1:29:39	ちょっと資料説明以上でございます。
1:29:43	はい。規制庁志村です。どうもありがとうございました。傾聴側から何か質問等ございます。ご説明以上でございます。
1:29:52	規制とシブヤですけれどもこちらの資料は門下の方の現職学園と作業部会について、作成されたものということですが、
1:30:05	先ほどの資料を作成いただいて、こちらのバックエンド、
1:30:11	対策チームの方でも発表いただくことは可能でしょうか。
1:30:18	また先ほど
1:30:22	一つ目の、現職既婚バックに対しての現状と課題ってところの中で山根リンクスいたしますのが、例えば7ページ8ページ、9ページ、
1:30:34	ずっといわゆる埋設部がに対してなりますので、ちょっと今回の文科省さんの作業部会ということでちょっと今簡略的に書いてますけれども、こういった観点から、
1:30:47	先ほどの資料とリンクさせた形作成は可能かと思、場合によっては一つの資料に入れ込むということは可能かと思います。
1:31:07	規定とシブヤですけれども、一つの資料として入れ込むかどうかはご説明しやすいかどうかで、ご判断いただければと思いますけれども。
1:31:18	政党段階の当番機会としては最後の国家公務員等の取り組み等の立地についての話もう入れていただきたいと、いうことですが、お願いできますでしょうか。
1:31:33	立地の時は、はい。
1:31:38	立地のところも、記載以上のこともございませんので、規制庁さんのこの監視委員会後で説明しても、多分、
1:31:48	もう答えのしようもないところでございますので、
1:31:51	どこに説明必要でしょうか。
1:32:35	規制庁の志賀ですけれども、確かに議論的な深めは難しいかもしれないんですけれども、表面的になってしまうかもしれませんけれども、1人の、
1:32:48	ご説明をお願いできますでしょうか。
1:32:53	どういうやりようもないので、例えば最後の11ページに、なるべく早期の実立地については早期の実現を図りますと。
1:33:05	ということでそれが暁には具体的な行程技術検討を進め、とうにゆも踏まえながら進めますといったことぐらいしか言わないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:16	そういうところ、例えば、こちらの先ほどの資料の中に入れ込むとか、そういうせいぜいその日入れても十分程度だと思いますけど。
1:33:25	そうですね。先ほどの大瀬様でも、やはり立地が進む、決まらないことによって後がボトルネックになってるっていう箇所がやっぱり何ヶ所あったかだと思いますので、そこを回収する意味で、そういう一文とかですね。
1:33:41	入れていただければと思います。
1:33:46	しまったんだと、資料見てもならないと思いますんで、
1:33:49	実質的にははい。実は須磨が決まってくなくてなかなか最終的な処分場じゃなくて、そこに向けた作業ができないっていうのは。
1:34:00	おりますけども、ただ、規制庁さん、清議会での資料に対しましてちょっとなかなか、御説明当然ながら難しい面もございますので、
1:34:11	そこに書いてることだけで十分じゃないかと思いますが、
1:34:16	あとやっぱり進まないって話はもうずっと聞いてるんですけども、あと、最初の方の一番のところで地道な取り組みを進めていますというところもやっぱり意味のある情報かと思っておりますので、
1:34:31	そこのご説明いただければと思いますがいかがでしょうか。
1:34:36	口頭で説明することは多分十分可能です。こういったこと。
1:34:44	こういった資料も出しておりますので、こういったことで説明させていただいておりますがこういったいろんな検討しておりますということが一言。
1:34:54	当日に説明することは口以外多分十分可能かと思っておりますので、そちらでいかがでしょうか。
1:35:01	わかりました。少し
1:35:06	分間ぐらい時間を取って、説明をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。質問イトウですけれども、資料としてコンパクトにする、していただく。
1:35:18	検討した余地はあると思うんですけども、取り組み状況の説明という、紹介をするページを設けていただいて、本日ご説明いただいたようなポイントをご紹介をいただければと思うんですが、それは難しいということなんですかね。
1:35:37	内容といえは同じですけども。
1:35:44	こういった広報活動を行ったりとかいろんな方策も考えてますという程度、作業が例えば記載し、
1:35:54	するとの形ではどうかと思いますけど。
1:36:00	多分まとめか何かのところぐらいでしょうか。
1:36:05	それは今、
1:36:09	会合資料として用意していただいているものの中に入れるという意味で座りが悪いのであれば別の資料でもいいと思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:21	資料が一つするかちょっと違う資料数かと、こちらでもちょっとご相談させていただければこちらちょっと検討した上で、相談させていただきたいと思いますけど。
1:36:32	はい。
1:36:41	はい。他に規制庁側から何かございますでしょうか。
1:36:54	冒頭に、規制庁芝ですけども、冒頭に浅香井手橋場管理官の方から、8月30日に開校開催ですということ
1:37:05	連絡をさせていただいたと言われましたけれども、
1:37:09	資料といたしましては、大宮鷺見もあることもありますので、7月中には、
1:37:18	フィックスしたいと考えておりますので、ご協力をよろしく願いいたします。
1:37:28	と規制庁側から何かございますでしょうか。
1:37:34	何かございますでしょうか。
1:37:42	んすか。
1:37:45	すいません。減少企画本部ナカムラです。資料についても本日幾つかコメントはいただいたものを、だと思えます。それについて反映をしたものでフィックスさせていただこうと思うので、
1:38:01	廃止した場をこの音調のご要望として7月末までに提示すればよろしいというそういう理解でよろしいですか。
1:38:51	あ、季節はシブヤですけども、
1:38:57	ご提出については、できれば24の週の前半でお願いしたいんですけども可能でしょうか。
1:39:08	仲村です。
1:39:12	メール等による提出ということよろしいでしょうか。はい。
1:39:21	健診センターで結構です。そうしました。承知いたしました修正一体含めた大きなコメントはないという理解なので反映はその時間かからないという認識でございます。
1:39:33	投資最終的に当然国会会合の資料となりますので、刷新会議の資料となりますので、最終的には機構の経営陣の確認を終えたものが最終のフィックス版と。
1:39:44	いう形になるという認識でございます。そういったものは我々の形での説明等の日程とかも考慮しなければならないので、
1:39:55	それを7月、もう末時点ですっていったところは今後調整が必要かなと思ってますけどもとりあえず、とりあえずという言い方なんですけど今回のコメント反映版ということで我々が持ち出しドラフト版については24の週にご提示することなの可能だと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:13	思いますがその通り対応させていただければと思います。規制庁芝です。ご協力ありがとうございます直す。最終的なフィックス版で、Webに掲載するようなものは、8月に入って、第3週目でも大丈夫ですので、
1:40:27	まず、内容の、そうですね。
1:40:31	精査会合の直前版ぐらいの感じでお送りいただければと思いますのでよろしくお願いたします。
1:40:39	直前バッチ側で8月1日からということですか。
1:40:43	テレホン修正は8月入ってからでもいいんですけども。
1:40:49	中身はまず、7月の24の週の早い段階で、いただきたいと思っていて、
1:40:59	手続きを経たんですが、7月中ということでも結構です。
1:41:07	授業はあと含めた修正をいただいた、公開版全員会合版という意味では、
1:41:13	8月を、
1:41:16	中旬ですかね。
1:41:18	はい。
1:41:20	では三つに分けてまず、主コメントを反映したものを27、7月の2725あたりでいただいて、さらに内部手続きの、
1:41:33	評価をいただいたものを、7月末までに、最終的に訳にをは等、フォントとかそういう細かいところまでフィックスしたものを、
1:41:44	8月の中旬にという3段階でお願いできますでしょうか。
1:41:51	はい。認証機構ナカムラです。一番最初の2425の取り上げコメント反映版というものについては対応可能だと思いますのでその他をさせていただこうと思います。都内フィックス版について7月末時点ってということなんですけどこちらちょっと菊名状況入ります。現時点で
1:42:11	それで行けますといったところ回答はちょっとできませんのでちょっとこれは今後調整をさせてください。最終的に8月のちょっとボーン
1:42:21	その議席換算とかがあるので8月の中旬ぐらいに最終版と言った公開される版といったところの転用が含まれた最終一晩といったところも理解いたしましたのでその細かい日程についてはまた別途調整させていただければと思います。以上です。
1:42:41	規制庁渋谷です。了解いたしました。それでよろしくお願いたします。他に何かございますでしょうか。
1:42:49	すいません全員ササキですけども、古閑以下公開会合に時間、時間を予定しているんですけども説明はどのくらいを。
1:43:02	想定しておけばよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:21	清とシブヤです現時点では、40分ぐらいを想定しているんですけども、また追ってご連絡させていただければと思います。
1:43:34	はい。ちょっと40分この資料プラ数
1:43:41	先ほど見ズーお見せしましたように5施設っていうと、結構厳しい。
1:43:46	か感じはしますけども、できればもう少しもらいたいと思っております。以上ですが、はい。では40分より伸ばす方向で検討させていただきますのでよろしくお願いいたします。
1:44:02	よろしく申し上げます。
1:44:05	他に何かございますでしょうか。
1:44:10	金子さんはいかがでしょう。
1:44:17	千原は兼子です。私から特にありません。
1:44:21	はい、ありがとうございます。では本日の面談を終了させていただきます。集まりいただきましてどうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。